

議案第 2 号

「併設型B中高一貫教育校（仮称）基本計画」について

県立学校の設置に係る「併設型B中高一貫教育校（仮称）基本計画」を別紙のとおり定める。

平成26年9月17日

沖縄県教育委員会

「併設型B中高一貫教育校(仮称)基本計画」

1 背景

中高一貫教育校(連携型、併設型、中等教育学校)は、これまでの中学校・高等学校に加えて中等教育の一層の多様化を推進し、生徒一人一人の個性をより重視した教育を目指すものとして、平成11年4月に制度化された。

沖縄県において、平成22年3月に策定した「沖縄21世紀ビジョン」を具現化する為にも、本県を牽引する高い志を持ったグローバルに活躍できる人材育成が必要である。

県教育委員会においては、平成14年度(伊良部高校)・平成15年度(本部高校)・平成16年度(久米島高校)に計3校の連携型、平成19年度(与勝高校)に併設型の中高一貫教育校を設置した。(第4期(H14～H23)県立高等学校編成整備計画)

第4期計画において、那覇中等教育学校(仮称)の那覇市への設置を計画していたが、同市の既設の高等学校の規模、中学生の生徒数等の課題から計画の実施に至らなかった。

第5期(H24～H33)編成整備計画において、中高一貫教育校の必要性から他地区での設置も含め検討することになっている。

2 趣旨

- (1) 生徒一人一人の個性をより重視した教育を目指し、6年間の計画的・継続的な教育指導の展開ができるシステムを構築し、国内外の難関大学進学等への対応を図る。
- (2) 生徒や保護者の教育の選択幅を拡大する。
- (3) 21世紀をリードするグローバルな高い志を持つ人材育成を図る。

3 基本的な考え

(1) 学校の特徴

- ① 6年間の一貫・継続性のある教育課程の編成
- ② 中学校教員と高校教員の交流授業の充実
- ③ 少人数・習熟度別指導の充実
- ④ 6年間の一貫・継続した進路指導により高い志を実現
- ⑤ 異学年間の交流、特色ある教育活動等による魅力ある学校

(2) 設置形態

併設型(既設の高等学校に新設の県立中学校を併設)

(3) 設置場所

沖縄県立開邦高等学校敷地内

(4) 学校規模

	1 学年学級数	学級数小計	1 学級定員	生徒数
中学校	1 学級	3 学級	40 名	120 名
高校	5 学級	15 学級	40 名	600 名
学校全体		18 学級		720 名

<高校の学科編成・各学年規模>

学術探究科 4 学級【学術理科（仮称：理数科扱い）と学術文科（仮称：英語科扱い）
のくくり募集、内進 1 学級を含む】

芸術科 1 学級

(5) 開校年度（中学 1 年生の受け入れ開始年度）

平成 28 年度

(6) 中学生の通学区域

県全域

(7) 入学者選抜方法

①併設型 B 中学校への入学者の選考については「沖縄県立中学校入学者決定方針」に基づき、別途「入学者選抜実施要項」で定める。

②併設型 B 中学校から県立開邦高等学校への入学に際しては、入学者の選抜は行わない。
ただし、他中学校から県立開邦高等学校への入学については「沖縄県高等学校入学者選抜実施要項」に基づいて行う。

(8) 施設・設備

中学校の教育課程を実施するために必要な施設・設備を整備する。